【 平成 29 年 10 月 20 日　建設通信新聞 】

発信基地、次代を見据えた新拠点

設計＝プランツアソシエイツＪＶ、施工＝小林工業ＪＶ

県建設事業協組 新群馬建設会館起工

群馬県建設事業協同組合（青柳剛理事長）は19日、新群馬建設会館新築工事の地鎮祭を開いた。基本・実施設計はプランツアソシエイツ・協同組合群馬県建築設計センターＪＶ、施工は小林工業・鵜川興業・宮下工業ＪＶが担当。２０１８年７月の完成を目指す。

神事では、刈初め（かりぞめ）の儀を青柳理事長、穿初め（うがちぞめ）の儀をプランツアソシエイツの宮崎浩代表取締役、鋤（すき）入れの儀を小林工業の小林要一代表取締役が行い、大澤正明群馬県知事、織田沢俊幸群馬県議会議長、半田和彦厚生労働省群馬労働局長、佐藤佳延東日本建設業保証群馬支店長、田仲豊群馬建築士会会長らが玉ぐしをささげた。

終了後、青柳理事長は「会館は、ホールを中心に広く県民にも親しまれてきたが、老朽化への対策を議論した結果、若い建協会員にふさわしい建物に建て替えることになった。他の建協に対する発信基地として、全国に誇れる会館になることを期待している」とあいさつした。施工者を代表して小林代表取締役は「建設業に携わるものとして思い出深い建物で、なくなるのは寂しさもあるが、次代を見据えた新しい拠点ができる。次代を担う建設関連業者の成長の場に育ってほしい」とした。

新群馬建設会館の規模は、Ｓ造３階建て延べ２９４４平方㍍。建設地は前橋市元総社町２―５―３。

刈初めの儀を行う青柳理事長

穿初めの儀を行う宮崎代表取締役

鋤入れの儀を行う小林代表取締役

飯島一明所長（小林工業）**の話**

「注目されている工事で、責任感を感じる。安全第一は当然として、品質も納得できる施設を施工したい。狭い敷地を有効活用して安全に施工できる計画を立てたい」

【 平成 29 年 10 月 20 日　日刊建設工業新聞 】

群馬県建設事業協同組合
群馬県建設事業協同組合

新群馬建設会館が起工

建設情報発信の拠点に

群馬県建設事業協同組合（青柳剛理事長）は「新群馬建設会館」の建設工事に着手した。19日に現地で関係者による地鎮祭（起工式）が行われた。設計はプランツアソシエイツ・協同組合群馬県建築設計センター、施工は小林工業・鵜川興業・宮下工業ＪＶが担当し、18年7月の完成を目指す。

地鎮祭では、宮崎浩プランツアソシエイツ代表取締役、青柳理事長、小林要一小林工業代表取締役が地鎮の儀に加わり、工事の安全を祈願した。

建設地は前橋市元総社町２の５の３の現群馬建設会館敷地内。建物はＳ造３階建て延べ２９４５平方㍍の規模となる。

地鎮祭後、青柳理事長は「先輩たちの努力で群馬建設会館は昭和47年に建築され、ホール中心に会議、研修会の開催だけでなく結婚式、各種イベントの利用など広く県民に親しまれる施設でもあった。雨漏りなど老朽化が進んだことから敷地内に建て替えることに決めた。新群馬建設会館が建設情報の発信拠点として全国に誇れる施設となることを望みたい」とあいさつした。

鎌を入れる青柳理事長

鍬を入れる宮崎代表取締役

鋤を入れる小林代表取締役

【 平成 29 年 10 月 20 日　群馬建設新聞 】

新群馬建設会館で地鎮祭

小林代表取締役（施工代表）

宮崎代表取締役（設計代表）

青柳理事長

小林ＪＶが施工

群馬県建設事業協同組合など

群馬県建設事業協同組合（青柳剛理事長）は19日、前橋市内の建設会館跡地で新群馬建設会館新築工事の地鎮祭を開催した。群馬労働局や県、県議会などから来賓が出席し、無事故無災害での完成を祈念した。

施設規模はＳ造３階建て、延べ床面積２９４４㎡。設計はプランツアソシエイツ（東京都中野区）、施工は小林工業・鵜川興業・宮下工業ＪＶが担当する。

【 平成 29 年 10 月 20 日　建設産業新聞 】

新群馬建設会館が起工

設計＝プランツアソシエイツら
施工＝小林工業ＪＶ

建設情報の発信基地に

群馬県建設事業協同組合

刈初の儀

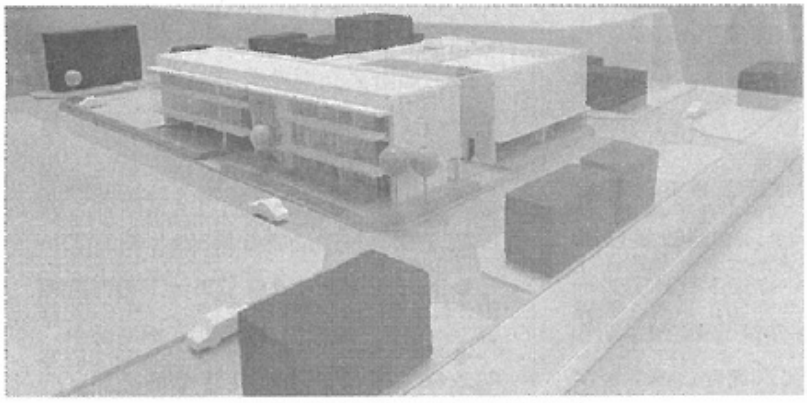
穿初の儀

鋤入れの儀

群馬県建設事業協同組合（青柳剛理事長）が整備主体となる「新群馬建設会館新築工事」の地鎮祭が19日、現地で執り行われた。設計はプランツアソシエイツと協同組合

群馬県建築設計センタシエイツの宮崎浩代表取締役、鋤入れの儀を小林工業の小林要一代表取締役が行い、工事の安全を担当する。神事では、刈初の儀を群馬県建設事業祈願した。

協同組合の青柳理事長、穿初の儀をプランツアソ式典で挨拶に立った群馬県建設事業協同組合の青柳理事長は「新群馬建設会館が、建設情報の発信基地として全国に誇れる施設になることを祈念する」と述べた。小林工業の小林代表取締役は「これから、次代を見据えた新しい拠点となる新建設会館が建設される。ここで次代を担う建設関連業者の皆様が育ってくれればと思う。来年7月の完成を目指し、企業体が力を合わせて無事故・無災害で仕上げていきたい」と抱負を語った。



新群馬建設会館完成模型

工事場所は群馬県前橋市元総社町2丁目5・3。敷地面積は3823・82平方㍍。施設規模はS造3階建て延べ約2944・95平方㍍。施設は、建設業を志す若者へのアピールや建設技術のプレゼンテーションが出来る建物を目指し、旧建設会館と同様に会議室やホール、事務室を設ける予定。18年7月の完成を目指す。

旧建設会館は73年に建設され、抜本的な耐震対策が必要になったため、新建設会館を整備することになった。

飯島明一次長（小林工業）のコメント

「かなり注目されている工事なので、責任を感じている。安全第一で、品質もお客様が納得できるようにがんばっていきたい」